

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年5月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナー、シンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<http://www.houkon.jp/galaxy/database.html>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp>

放送批評懇談会



2019年5月度ギャラクシー賞月間賞

NHKスペシャル「日本人と天皇」

4月30日放送 20:00~20:54 日本放送協会

改元を機に、天皇制と天皇制という仕組みを支える儀式などの実態を淡々と伝えた。継承された「伝統」と、政治的に作られた「伝統」の時間量、天皇の側室という形を廃止した時点で、現在の継承者問題が導かれたことなど、次代により変化してきた天皇の在り方を如実に示した。改元関連の番組の中で、突出して見るべき番組だった。

水曜日のダウンタウン「新元号を当てるまで脱出できない生活」

5月8日放送 22:00~22:57 TBSテレビ

新元号「令和」を当てるまで帰れないという企画。単に芸人を過酷な状況に追い詰めるのではなく、生活用品やヒントをポイントに応じて購入できるようにしたり、そのヒントのさじ加減が絶妙。それを解こうとする意思と力を持った芸人だからこそ正解の時の感動が大きかった。やりたい放題に見えてロジカルに考え抜かれた演出が効いていた。

NEWS23「三島由紀夫 vs 東大全共闘」

5月16日放送 23:00~23:56 TBSテレビ

令和を迎えたお祭りムードが冷めやらぬ中で、「天皇主義者でありながら、戦後の天皇制には批判的だった」三島の肉声が放送された意義は大きい。世の中を変えるためには、時に世の中のルールに反することも必要だ。立場は違えどその覚悟を共有した人間同士の対話が、現在に鋭く響いた。

バリバラ「スケッチコメディ〜障害者が職場にやってきた〜」

5月16日、23日放送 20:00~20:30 日本放送協会

まだまだバリアだらけの世の中、果敢に楽しくそれを打ち砕く「バリバラ」の特別企画。大阪の三流企業「バリバラ商事」が障害者法定雇用率2.2%を満たすために採用したスタッフと障害についてあまり知らない部長等の間で起きる職場のあれこれをシットコムで描く。多様な人々が協働するには「笑い」のような余裕要素が大事と気付かされた。